

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成26年8月14日(2014.8.14)

【公開番号】特開2013-19778(P2013-19778A)

【公開日】平成25年1月31日(2013.1.31)

【年通号数】公開・登録公報2013-005

【出願番号】特願2011-153656(P2011-153656)

【国際特許分類】

G 01 D 5/245 (2006.01)

【F I】

G 01 D 5/245 1 1 0 X

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月27日(2014.6.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

パターンを有し、測定対象の回転子に固定される回転部と、
前記パターンを検出する検出部と、
前記回転子を基準とした位置規制面を有し、前記回転子を回転可能に保持するベアリング部と、
前記位置規制面に当接させた当接部が設けられた本体部と
を備えるエンコーダ。

【請求項2】

前記本体部は、前記測定対象の非回転部分に固定される第1部分と、前記第1部分と分離可能に接続された第2部分と、を有する
請求項1に記載のエンコーダ。

【請求項3】

前記第1部分又は前記第2部分に設けられ、前記本体部と前記検出部とを位置決めさせる位置決め部を備える

請求項2に記載のエンコーダ。

【請求項4】

前記ベアリング部は、前記第1部分に保持されている
請求項3に記載のエンコーダ。

【請求項5】

前記検出部は、前記第2部分に固定されている
請求項4に記載のエンコーダ。

【請求項6】

前記第1部分及び第2部分のうち一方には、前記位置決め部として凹部が形成されており、

前記第1部分及び前記第2部分のうち他方には、前記位置決め部として前記凹部に対応する凸部が形成されており、

前記第1部分及び前記第2部分は、前記凹部に前記凸部が挿入された状態で接合されている

請求項3から請求項5のいずれか一項に記載のエンコーダ。

【請求項 7】

前記ベアリング部は、前記回転軸の径方向について前記回転軸と前記本体部との間に配置されている

請求項 1 から請求項 6 のいずれか一項に記載のエンコーダ。

【請求項 8】

前記ベアリング部は円環状であり、前記ベアリング部の内周面は、前記回転軸の外周面に当接されている

請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載のエンコーダ。

【請求項 9】

パターンを有する回転部を、測定対象の回転子に固定する回転部固定工程と、

前記回転子を回転可能に保持するベアリング部を前記測定対象の非回転部分に固定される本体部に取り付けるベアリング部取り付け工程と、

前記回転子を基準に前記ベアリング部を用いて位置決めさせつつ、前記測定対象に前記本体部を固定する本体部固定工程と、

前記パターンを検出する検出部を前記本体部に固定する検出部固定工程と
を含むエンコーダの取り付け方法。

【請求項 10】

前記ベアリング部取り付け工程は、前記ベアリング部の位置規制面を前記本体部に設けられた当接部に当接させることを含む

請求項 9 に記載のエンコーダの取り付け方法。

【請求項 11】

前記本体部固定工程は、前記ベアリング部と一体的に設けられた前記本体部に前記回転子を挿入させることを含む

請求項 9 又は請求項 10 に記載のエンコーダの取り付け方法。

【請求項 12】

前記本体部は、前記測定対象の非回転部分に固定される第 1 部分と、前記第 1 部分と分離可能に接続された第 2 部分と、を有し、

前記本体部固定工程は、前記第 1 部分及び前記第 2 部分のうち一方に形成された凹部に、前記第 1 部分及び前記第 2 部分のうち他方に形成され前記凹部に対応する凸部を挿入することを含む

請求項 9 から請求項 11 のいずれか一項に記載のエンコーダの取り付け方法。

【請求項 13】

回転子と、

前記回転子を回転させる駆動部と、

前記回転子に固定され、前記回転子の位置情報を検出するエンコーダと、を備え、

前記エンコーダとして、請求項 1 から請求項 8 のうちいずれか一項に記載のエンコーダが用いられている

モータ装置。